□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業費の見直し検討

作成・更新日 令和6年8月2日

工士	リノコルとし	ルベリン	/一下(77413千/支	大心力 /			1 - 7	W X4/10	13/100	<b>+0/ ]2 L</b>
事業名	日本博物	加館協会参		実施計画事業or一般事業	—£	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
	I.			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情							1	T		·-··-
				予算中事業名	7 55	会計		事業計画	単年度	
				日本博物館協会参画事業		款		新規or継続 市単独or国県補助		事業 生
			夕称	根拠法令、条例等	科目	項 目		義務or任意		当事業 内事業
				似是压力、未物等	事業	開始年度		実施方法		営
政策体系				博物館法		終了年度		事業分類		事業
				佐野市博物館条例	MILL	於」牛皮	_	尹未刀規	沙凹	尹未
<b>2. 事業</b> 概 (1)事第	下情報   教育部   教育部   課 文化財課			似施設との会員相互の交流を流	深め、各	種情報や協	富力を得るこ		物館事業	の発展を
(2) ⊟#				(2) 日堙店						
(2)目的	ע			(3)目標値 効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	Art = 177 117	MA	0.11\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	参画で情報を集められた館職員の割合	%	100.0			_	100.0
(本事業に				参画の意義を認める館職員の割合	%	100.0				
よって成し 遂げたい			等る。また、							
状態)	米山で区	1.00								
									<u> </u>	
<b>3. 前年</b> 原 (1)活動	5動実績			(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の	性移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
	• 市の活動		機関誌収集数	部	12	12	12			
							}			
活動実績		館協会に負担	旦金(30千円)を支出し、機関誌等を収集	会議・研究会参加数	□	0	0	0		
旧動天順 (R5年度に		ペー・カ へ かいてき	L.							
行った主な活				事業費計	千円	30	30	30		
動内容)									ļ	
	_, _, _, _, _			—————————————————————————————————————	千円	30	30	30		
	/\C CV\D8			特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
				( )				<u> </u>	i 	
(3) 沽重	かによる効果 I			(4)事業効果を説明する数			D4	DE	↓選択して	
				効果指標 参画で情報を集められた館職員の割合	単位 %	R3 100.0	R4 100.0	R5 100.0		R4とR5の比較 効果は変わらない
効果説明				参画の意義を認める館職員の割合	%	100.0	100.0		値が大きいほど良い	効果は変わらない
(,,,	会議等には	参加できなか	ったが、機関誌等から情報を得られた。	S EL OVERTAGE CHOOS OR CHARGE STATE OF THE S	70	100.0	100.0	100.0		
定性)										
(5)費日	日が効果結ら	里 (白動組定	=)							
				※10万円以上の増減により判断				効果		
				0,3,3,2,2 0 20,00			効果が上がった		効果が下がった	
効果 (R5とR4の					費	費用は下がった				
指標值増減)	効未が下が				用	費用の増減無し		O		
(1) 令和	□5年度の事	   業実施におり								
(2) 上詞	己反省点及び	/課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組		ī					
	事業の在り	方検討(廃止	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	取組説明						

作成•更新日 令和6年8月2日

工士							,,,			
事業名	博物館協	協議会運営	<b>事業</b>	実施計画事業or一般事業	-,	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	部	教育部		予算中事業名		会計	<u></u>	事業計画	単年度	細り近し
	課	文化財課			予算	款		新規or継続	継続	
	係	葛生化石館		博物館協議会運営事業	科目	項	4			虫事業
	体系コード	232		根拠法令、条例等	1111	目		義務or任意		内事業
	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり	INJAM IN ANTIO	事業	開始年度		実施方法	直	
政策体系	政策		歴史・文化を守り育てるまちづくり	博物館法		終了年度			審議会等	-
	施策		歴史・文化資源の保存と継承	- 佐野市博物館条例		173 12	ļ	3 7/0/3700	H1324 13	
<b>2. 事業</b> 机 (1)事業		とび(基本計	画期間内)目標値		•					
事業概要	博物館の通	堂営に関し教育	育委員会の諮問に応じるとともに、意見を述	べる機関である、佐野市博物館	協議会	を年2回開	催する。			
(2)目的	勺			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				意見·助言数	件	20	20	22	22	22
(本事業に よって成し	事業が円滑	で効果的に	実施できるように、博物館の運営に関して							
遂げたい	委員から貴	重な意見や即	力言を聴く。							
状態)										
									<u> </u>	<u> </u>
<b>3. 前年</b> 原 (1)活動		舌動及び費用	3対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	が事業費の	性移		1	
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				会議開催回数		2	2	2		
活動実績	/ <del></del>								l	
(R5年度に	KTT1 (1) (4) K		1877年101年度						İ	
行った主な活			3開催 10人出席 開催 10人出席	事業費計	千円	84	99	106		
動内容)	*#ZEIZ#	找 3/コェラロ	州催 10八四/市		千円	84	99	106	1	
						04	99	100	-	
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(2) 江毛	ᇸᄼ			(4) 東野故田も説明ま2数	方一"	h n +# 14	I	<u>.                                    </u>	1 122401 -	
(3) 活里	動による効果 T			(4)事業効果を説明する数 効果指標	単位	70)推移 R3	R4	R5	→ 選択して 指標の性質	
				意見·助言数	件	19	20			効果が上がった
効果説明				恶儿 奶白奴	- 11	1.7	20	21		7/15/K/13 <u>1/1</u> /3 5/C
(定量及び	予定通り年	2 回会議を開	開催し、多くの意見をいただいた。							
定性)										
( c ) 弗日	日かか田生	果(自動判定	<b>&gt;</b> )							
,	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		1
	効果が上が		1指標	※ 1 0 / 3   3   3   4   3   3   4   3   3   4   3   3			効果が上がった		効果が下がった	
効果 (R5とR4の	効果は変わ	らない指標数	0指標		費	費用は下がった				
指標値増減)	効果かトが	らた指標数 指標全体	0指標 <b>効果が上がった</b>		用	費用の増減無し	0			
(1) 令和		事業実施にお	ける反省点、環境変化や関係者からの意見					っていただく。		
(2)上記	己反省点及で	び課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明	1					
			、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	propagation 2 d						
	事業効果を	・トげるための	事務改善の検討							

現状を維持する。

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

作成・更新日 令和6年8月1日

1上尹	リノがバン	ルとリン	/一ト(市和3年度	<b>美</b> 地刀)			1 =/	戏•史机口	134μΟ-	40月1日
事業名	郷土博物	n館 P C B	廃棄物処理事業	実施計画事業or一般事業	— <u>;</u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情										
		教育部		予算中事業名		会計		事業計画		
担当組織	課	文化財課		郷土博物館PCB廃棄物		款		新規or継続	新規	
	係	文化財保護	係	処理事業	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	由事業
	体系コード	232	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	任意的	勺事業
ナレケケ ハ エ	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	R5	実施方法	直	営
政策体系	政策		歴史・文化を守り育てるまちづくり		期間	終了年度	R5	事業分類	施設維持	管理事業
	施策		歴史・文化資源の保存と継承			小( )   /(X	11.5	チボカバ	ייייייייייייייייייייייייייייייייייייייי	
(1)事第	美概要 郷土博物館		<b>画期間内)目標値</b> 開館の施設であり、開館以来使用して(							
事業概要		用されている? B含有機器	変圧器が確認された。新しい機器と交換 を処分した。	して、PCB含有機器を適正に廃	葉する	ことにする。・	令和 4 年度 	こで換工	事を実施し、 	、令和 5
(2)目的	ά			(3)目標値						
(Z) 🗀 🛚				(3) 日標恒 効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的						K3	K4	100		K/
(本事業に	建物・機械	設備等を維持	・管理し、展示室や収蔵施設の最適環	適切に収蔵される資料数/収蔵資料数	%					
よって成し	境を維持す	ることで、利用	用者が、安全で快適に施設を利用できる	来館者数	人			20,000		
遂げたい	環境を保つ									
状態)	JK JU C JK J									
<b>3. 前年</b> 度 (1)活動		舌動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	が事業費の	住移		1	
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				加公よりの全有機型	4			-	İ	
				処分したPCB含有機器	台			1		
活動実績									1	
(R5年度に	に に 低濃度PCB含有機器(変圧器 1台)の運搬・処分									
行った主な活				事業費計	千円	0	0	180		
動内容)				5 7 7 7 7 7 7		_				
				一般財源	千円			180		
				特定財源(国・県・他)	千円					
				1370,733. (2)					ł	
				(うち受益者負担)	千円					
(つ) 江ま	h/c b z 차田			(4) 東豐林田大説四寸2巻	5/古一"	ha+#14			1 1255/1	
(3) 活里	かによる効果			(4)事業効果を説明する数					↓選択して	
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
効果説明				適切に収蔵される資料数/収蔵資料数	%			100	値が大きいほど良い	効果が上がった
が未就の	R5新規事業	坐		来館者数	人			19,270	値が大きいほど良い	効果が上がった
定性)	11/34/1/5032	*								
ÆIL)										
						l .		l .	,	
		果(自動判定		_						Ī
費用(R5	とR4の一般		費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が		2指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果は変わり	らない指標数	0指標 	<u> </u>	費	費用は下がった				
指標値増減)	<i>X</i> JX-/J   /J	指標全体	効果が上がった		用	費用が増加した	0			
			ける反省点、環境変化や関係者からの意	5見等を踏まえた検討課題、費用	対効果[	句上のための	)課題			
	事業の在り 事業効果を 事業費の見	方検討 (廃止) と上げるための 記直し検討	えた、令和6年度及び令和7年度の取得 、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 の事務改善の検討	取組説明						

#### 仕事の振り返りシート(令和5年度実施分) 作成•更新日 令和6年8月2日 事業名 葛生化石館運営事業 実施計画事業or一般事業 -般事業 該当なし 総合戦略 該当なし 市長公約 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当なし コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし 1. 基本情報 教育部 予算中事業名 一般 事業計画 単年度繰り返し 部 会計 担当組織 文化財課 継続事業 課 予算 款 10 新規or継続 葛生化石館運営事業 葛生化石館 市単独事業 係 科目 項 4 市単独or国県補助 体系コード 232 名称 根拠法令、条例等 目 4 義務or任意 任意的事業 事業 開始年度 基本目標 2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり H14 実施方法 直営 政策体系 博物館法 終了年度 事業分類 施設維持管理事業 期間 政策 3 歴史・文化を守り育てるまちづくり 佐野市博物館条例 施策 2 歴史・文化資源の保存と継承 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要 葛生化石館を運営するための事業。資料の整理・管理・学芸業務補助のため会計年度任用職員を任用する。また、事務用経費、ボランティア活動支援、展示用 事業概要 パネルや標本作製などを行っている。 (2)目的 (3)目標値 効果指標 単位 R3 R4 R5 R6 R7 目的 入館者数/市人口 % 15.0 15.0 15.0 15.0 15.0 より多くの人に佐野市から豊富に産出される化石や鉱物などを通 (本事業に 広報紙·情報誌等掲載回数 30 30 30 30 30 じ、自然科学について関心を持ってもらう。入館者に利用しやすい環 よって成し 遂げたい 境を整える。 状態) 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移 (1)活動実績 単位 活動指標 R3 R4 R5 入館者数 11,787 人 16,606 16,481 収蔵資料数 点 2,149 2,201 2,230 ・会計年度任用職員による資料管理・学芸業務補助 活動実績 ・ボランティアによる事業・講座補助、勉強会、視察研修 (R5年度に ・パ゚ソコン及び周辺機器・デジタルフルカラー複合機の借上げ 行った主な活 事業費計 千円 3,450 3,513 3,652 動内容) 各種事務用消耗品の購入

(3)活動による効果

#### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

特定財源(国・県・他)

(うち受益者負担)

一般財源

千円

千円

千円

3,422

28

↓選択して下さい

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
+1 cm = 14 nn		入館者数/市人口	%	10.1	14.4	14.4	値が大きいほど良い	効果は変わらない
効果説明	  情報誌等掲載回数・入館者数ともに前年度より減少した。	広報紙·情報誌等掲載回数		41	44	39	値が大きいほど良い	効果が下がった
(定量及び 定性)								
ƌ)								

#### (5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
効果	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	1指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	1指標
指標值増減)	指標全体	効果が下がった

※10万円以上の増減により判断

Í				効果	
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費	費用は下がった			
		費用の増減無し			
	用	費用が増加した			$\bigcirc$

3,453

60

3,584

68

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

情報誌等の取材に積極的に対応したが、掲載回数は目標を上回ったものの、入館者数ともに前年度より減少している。

()	)上記反省点及び課題を踏まえた、	令和6年度及び令和7	'年度の取組
\ _	/ 工品人自示人员 配送 6.1167116.		

	-1/(1111/07)	
□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) □ 事業効果を上げるための事務改善の検討		
☑ 事業別未で工りるための事物は音の探討	İ	
□ 事業費の見直し検討	こまめなホームページ更新を心持	卦け、情報発信に努める。
□ 業務時間効率化のための事務改善の検討		
□ 特に検討事項無し (現状維持マは現状の計画通り)		

取組設用

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

11手	り振り	ルベリン	/一ト(中和 5 年度	关心力)			1′F/	戏•史机口	тэ∧цо	<b>40月2</b> 日	
事業名	葛生伝剤	除館空調設	<b>设備整備事業</b>	実施計画事業or一般事業	—,	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし	
		I +			1						
	基本体報   独立										
担当組織											
					科目						
	体系コード	232	名称 名称	根拠法令、条例等							
政策体系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	 		開始年度			-		
2007(117)(	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり		期間	終了年度	R5	事業分類	施設維持	管理事業	
	施策	2	歴史・文化資源の保存と継承	1223 1-10 10AH21013							
	*************************************			*整備が必要となってきている。特	:に空調	設備につい <sup>-</sup>	ては、資料(	の展示・保管	   	ら閉館時	
事業概要				D経年に伴い、修繕に必要な部品	品の調道	達が難しくな	り、故障した	を際の対応	ができなくな	る可能性	
(2) ⊟₩	ά			(3)日煙値							
(2)日野	<u>ע</u>				畄台	D2	DΛ	DE	D6	D7	
目的					—	K3	K4		KO	r(/	
(本事業に	施設型備で	/田滑か管理	収蔵資料の良好が促充 展ニ環接の勢		70			100.0	<del>                                     </del>		
よって成し				:					<del> </del>	<del>                                     </del>	
遂げたい		。木貼石がか	一部日は、女主、大道に利用できる。								
状態)											
		舌動及び費用	<b>引対効果)説明</b>	(2)活動を説明する数値デ		「事業費の	推移				
				活動指標	単位	R3	R4	R5			
				再発した空間が構	4			6			
				更新した空調設備	口			6			
	<b>5動実績</b>										
(R 5 年度に	展示室・収	蔵庫の空調語	殳備の更新								
				事業費計	千円	0	0	8,613	1		
231 3 12 7				一般財源	千円						
				性完財頂(国,用,他)	工田			0.612	1		
				13/2//3//3/ (Д /// ///				6,013			
				(うち受益者負担)	千円						
(2) 汗雨	하/C F Z 차 田			(4) 車業効用を説明する数	<b>元</b> 古二	カの性移			1 2554 - 7	~T+1\	
(3) 冶里	これの対策						D4	DE			
						R3	K4	_			
効果説明				他設か女主で良好に使われた割白	70			100.0	恒か入さいはこ及い	刈未が上がりに	
(定量及び	令和5年度	新規事業									
定性)											
	<u> </u>					<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>		
,			Ē)	<del>-</del>						-	
費用(R5				※10万円以上の増減により判断							
効果						#0474	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
(R5とR4の											
指標值増減)	79321<13 1 13				用						
	□5年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用え	対効果[	句上のための	)課題				
, ,			えた、令和6年度及び令和7年度の取組(、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	取組説明							
	事業効果を 事業費の見	上げるための 直し検討	事務改善の検討の事務改善の検討								
L I	未切可問义	'n <del>─ï</del> ¡⊔∨ノ≀∟₢Ĵ∪	ソナツの以口グです	i .						J	

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

1工事	い加り	ルベリン	ノート(令和5年度	美地分)			作	弦・更新日	令和6	年8月1日
事業名	郷土博物	加館指定管	理事業	実施計画事業or一般事業			市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
. +	±+n			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
		教育部		<b>予</b> 質由重型 <b>夕</b>		스타	— 船	<b>重業計画</b>	単在度	繰り返し
担当組織	本情報				予算					
	上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度の事業実施における反対。   本集機・	- 郷土博物館指定管理事業 	科目	項						
	体系コード	232	名称	根拠法令、条例等		目	5	義務or任意	任意的	り事業
政策体系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	R5	実施方法	指定管	管理者
BANKTINK		_		佐野市博物館条例	期間	終了年度		事業分類	施設維持	管理事業
	既要と目的及	!								
事業概要	月1日から、 仕様の中で規	指定管理制度	を導入する。							
(2)目的	þ			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
	運営の効落	3化 新俎占7	での企画・展示 矛動で充実した職員配	年間来館者数	人			19,270	20,000	20,000
				佐野市の伝統文化や文化財を大切にしたいと思う市民の割合	%			95.0	95.0	95.0
遂げたい	独大時間									
状態)										
		舌動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	「事業費の	進移			
活動指標 単位 R3 R4 R5   企画展開催数										
	活動実績  企画展開催 4回 学校利用促進事業 ・ *** ・ *** ・ *** ・ ** ・ ** ・ ** ・ **		企画展開催数	回			4			
	5年度に   学校利用促進事業			学校利用 求館児童数	,			2 626	1	
活動実績				子(人) 小品儿主然				2,020	ŀ	
•	活動実績  「全種」  「全種」  「全種」  「全種」  「全種」  「会種」  「会養」  会養」									
			事業費計	千円	0	0	34,517			
±311111			一般財源	千円			34,205			
				特定財源(国・県・他)	千円			312		
									1	
				(プラ文皿日兵)三/	111			312	]	
(3)活重	かによる効果					タの推移				
						R3	R4			
効果説明										
`	令和5年度	新規事業		ESTINATION CONTROL OF THE PROPERTY OF THE PROP	70			67.7	EU NEVISCEVI	<u>мжи ти ис</u>
定性)										
(5)費田	日対効里結馬	里 (白動坐)完	E)							_
				※ 1 0 万円以上の増減により判断				効果		
	効果が上が	った指標数	2指標				効果が上がった		効果が下がった	
指標値増減)	79321<13 1 13			j	用		0			
(2)上記	<ul><li>15年度の引</li><li>2反省点及び</li><li>事業の在り</li><li>事業効果を</li></ul>	事業実施におり が課題を踏まえ 方検討(廃止 と上げるための)	えた、 令和 6 年度及び令和 7 年度の取組 、休止、 再編成、 受益者負担の見直しなど)		対効果[	句上のための	D課題			
			)事務改善の検討							

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

作成・更新日 令和6年8月1日

11尹	りがで	ルベリン	/一下(市和 5 年浸	.夫加刀)			1 F.	戏•史机口	тэ үш О-	<b>40月1</b> 日
事業名	郷土資料	4保存三好	館運営事業	実施計画事業or一般事業			市長公約	該当なし		
. +	正本作権									
		<del></del> 数容郊		<b>又</b> 質由車 <b>要</b> 夕		△≒↓		車券計型	畄午 庄:	組り行.
	接上資料保存=好館運営事業   実施計画事業の一般事業   一般事業   特益201   認当201   総合戦略   総当201   地合戦略   後担201   地のシープ   後当201   地の連邦   単年度域の返し   経験が出版   経験が出版   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日									
			係							
					7111		-			
				INDEAD IN THE TOTAL	事業					
政策体系				=			1110			
				1		八十八人		子未乃从	NODX/IE1/	ロエチボ
(1)事業	类概要									
事業概要	選集   押工資料保存三好保護管事業   実施は画面の一個事業   一般事業   市長公前   認当の、総当の、総当の、総当の、総当の、 総当の、 総当の、 総当の、 総当の、									
(2)目的					1 .			1		
日的										
	地元自治会	ことの協働によ	り、三好館の管理運営を行い、見学者の							
	利便を図る	とともに、地域	成の歴史と伝統を再認識していただき、郷	来館者数	人	100	100	100	100	100
	1. 基本特殊									
状態)										
3. 前年度	まの実績 (流	舌動及び費用	対効果)説明							
				(2)活動を説明する数値デ	ータ及し	が事業費の!	准移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5	1	
				用貼口数	Н	20	24	24		
V-71-4-	. 答钿ょ	<b>学</b> 黎を三位州	10町今長に季託	延ベボランティア従事者数	人	40	48	48		
1. 株本情報   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日										
		: 毎月第2・	第4日曜日	3 2102 (21)	十円	160	191	191		
担当性調整										
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(3た巫犬老台切)						
	1			(力)及無有其担)	111				j	
(3)活動	がによる効果			(4) 事業効果を説明する数	な値デーク	タの推移			↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
ᄽᄪᄣᄜ				開館日数/開館予定日数	%	83	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない
	予定通り開	館できた。		来館者数	人	50	53	30	値が大きいほど良い	効果が下がった
(//	3 /2/27 [1]	A. C. C. C.							ļ	
									<u> </u>	
(5)費用	対効果結果	果(自動判定	<u> </u>							
費用(R5	とR4の一般	財源増減)	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果						I	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
指標值増減)	7/37/2/3 1 /3				用					
(1)令和	15年度の事	 『業実施におり		2 22 22 22		-	)課題			
(2) 上記	尼反省点及び	が課題を踏まえ	た、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明						

			-卜(令和5年度							
事業名	田中正造	5旧宅一般:	公開支援事業	実施計画事業or一般事業		般事業		該当なし		
· #-	生土ワ			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本	部	教育部		予算中事業名		会計	—船	事業計画	単年度	繰り返し
⊒当組織	課	文化財課		田中正造旧宅一般公開支	予算	款		新規or継続	継続	
	係	文化財保護係	Ŕ	援事業	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	232	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意的	的事業
政策体系	基本目標		折たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	H16	実施方法	直	
	政策		歴史・文化を守り育てるまちづくり	-	期間	終了年度		事業分類	支援	事業
	施策	2 1	歴史・文化資源の保存と継承							
2. <b>事業</b> (1) 事業		とび(基本計画	期間内)目標値							
<b>事業概要</b>			宅(栃木県指定史跡)の適切な保存と 一般公開を行っている(一財)小中農教							
(2)目的	的			(3)目標値						
目的				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
(本事業に	田中正造翁	うの偉業を認識	してもらい、誇れる郷土の歴史を正しく理	年間入場者数 ボランティア従事者数	人	612 14	861 14	1,548 14	1,800 20	2,000 20
よって成し			中正造旧宅一般公開事業の円滑な運	ハフフナ171に宇宙数		14	14	14	20	20
遂げたい 状態)	営と財政の	健全化、及び記	说明ボランティア団体の養成を支援する。							
17767)										
<b>3. 前年</b> 原 (1)活動		舌動及び費用剤	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ						
	【市の活動】	1		活動指標	単位	R3	R4	R5		
		-	部への管理運営費補助金及び入場料	開館日数	П	174	203	205		
	補助金の交	付事務、県指	定文化財「田中正造旧宅」の維持管	説明ボランティア団体視察研修回数		0	0	1		
舌動実績 R5年度に			旨導及び助言、県との連絡調整。							
R5年度に 行た主な活			倶楽部の活動】	事業費計	千円	741	978	941		
動内容)			1の田中正造翁、カツ子夫人法要の実 公開、田中正造旧宅の維持管理	2 11.2 12.1						
	【共催】	に 一色 地	公開、田中正垣旧七の維持官珪	一般財源	千円	741	978	941		
		ティア団体視察	研修	特定財源(国・県・他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活動	ー 動による効果			(4)事業効果を説明する数	(値デー	タの推移			↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
効果説明				年間入場者数	人	612	861	1,548	値が大きいほど良い	効果が上がった
の未就の	コロナ渦も明	引け、入場者数	も戻りつつある。	ボランティア従事者数	人	14	14	14	値が大きいほど良い	効果は変わらない
定性)										
/r\ #r	T	用 /台科WI合Y	1					1		
	邦対効果結果 とR4の一般	果(自動判定) 財源増減)	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
	効果が上が		1指標	☆ I U/JI JM I WIE がにより刊的			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
か田	効果は変わ	らない指標数	1指標		費	費用は下がった				
効果 (R5とR4の	$-\infty$ $-11$ $-11$ $-11$	った指標数	0指標	•	用	費用の増減無し	0			
効果 (R5とR4の 旨標値増減)	<i>X</i> //   //	指標全体	効果が上がった		713	具用が相加した				

説明ボランティア従事者数は横ばい状態になっている。研修等の支援を継続し、新規希望者の確保等、ボランティア活動の充実のため、協力していく。

(2)	上記反省点及ひ課題を踏まえた	、令相6年度及ひ令相/年度の取組	

,	上的人自然人已经是是100000000000000000000000000000000000		
		取組説明	
	□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)		
	□ 事業効果を上げるための事務改善の検討		
	□ 事業費の見直し検討		
	□ 業務時間効率化のための事務改善の検討		
	☑ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)		

#### 什事の振り返りシート(令和5年度実施分) 作成·更新日 令和6年8月2日 事業名 葛生化石館維持管理事業 該当なし 総合戦略 該当なし 一般事業 実施計画事業or一般事業 市長公約 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当なし コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし 1. 基本情報 教育部 単年度繰り返し 部 予算中事業名 会計 一般 事業計画 担当組織 課 文化財課 予算 款 10 新規or継続 継続事業 葛生化石館維持管理事業 葛生化石館 科目 項 4 市単独or国県補助 市単独事業 係 根拠法令、条例等 4 義務or任意 任意的事業 体系コード 232 名称 目 基本目標 新たな流れの創造による賑わうまちづくり 事業 開始年度 H14 実施方法 直堂 2 政策体系 博物館法 期間終了年度 事業分類 施設維持管理事業 政策 3 歴史・文化を守り育てるまちづくり 佐野市博物館条例 施策 2 歴史・文化資源の保存と継承 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要 事業概要 葛生化石館の施設や設備を整備して、利用者に良好な環境を提供し、化石館で収集・保管・展示する貴重な資料の保存を図る。 (2)目的 (3)目標値 単位 R4 R5 R7 効果指標 R3 **R6** 日的 0 0 施設トラブル件数 件 0 0 n (本事業に 施設・設備・収蔵資料の良好な維持管理を図る。入館者が不都 適切な収蔵資料件数/収蔵資料総数 % 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 よって成し 合なく安全に利用できる。 遂げたい 状態) 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (1)活動実績 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移 単位 R4 活動指標 R5 くん蒸回数 1 2 2 保守点検回数 2 ・照明器具等維持管理のための消耗品の購入 活動実績 常設展示物動産保険の加入 (R5年度に ・くん蒸の実施(年1回) 行った主な活 事業費計 千円 2,355 1,485 2,916 ・空調設備の保守点検の実施(年2回) 動内容) 公用車の維持管理 一般財源 千円 2,355 2,916 1,485 特定財源(国・県・他) 千円 千円 (うち受益者負担) (4) 事業効果を説明する数値データの推移 (3)活動による効果 ↓選択して下さい 単位 R3 R4 R5 指標の性質 R4とR5の比較 効果指標 件 ↑ 値が小さいほど良い 効果は変わらない。 施設トラブル件数 n 効果説明 適切な収蔵資料件数/収蔵資料総数 % 100.0 効果は変わらない 100.0 100.0 値が大きいほど良い 施設トラブルもなく良好に管理している。 (定量及び 定性) (5)費用対効果結果(自動判定) ※10万円以上の増減により判断

とR4の一般財源増減)	費用が増加した
効果が上がった指標数	0指標
効果は変わらない指標数	2指標
効果が下がった指標数	0指標
指標全体	効果は変わらない
	効果が上がった指標数 効果は変わらない指標数 効果が下がった指標数

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した			

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

空調設備修繕工事を行ったため費用が増加した。施設が老朽化しているため、施設トラブルがないようこまめに点検を行う。

(2)	上記反省占及が課題を踏まえた	今和6年度及75字和	7 年度の取組

		事業の在り方検討	(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど
--	--	----------	------------------------

事業効果を上げるための事務改善の検討 

事業費の見直し検討 П

業務時間効率化のための事務改善の検討 П

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

日75日 = 台口日
DY THET UH

# 事業名 **葛生化石館企画展等開設事業** 実施計画事業or一般事業 一般事業 市長公約 該当なし 総合戦略 該当なし 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当なし コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし

#### 1. 基本情報

		部	教育部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
担当組織	担当組織	課	文化財課		葛生化石館	予算	款	10	新規or継続	継続事業
		係	葛生化石館		企画展等開設事業	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独事業
		体系コード	232	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	<b>博物館法</b>	事業	開始年度	H14	実施方法	直営
IXVR PT-71	IXXX PT/IX	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり		期間	終了年度	1	事業分類	施設維持管理事業
		施策	2	歴史・文化資源の保存と継承						•

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

#### (1) 事業概要

常設展とは別に、短期間で自然や化石・地質に関することを企画・展示する。これはテーマごとに深く掘り下げて知的好奇心を刺激するため、保管する収蔵品や他館の資料を借用して行う。また、企画展の関連講座を実施する。

(2)目的

事業概要

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		企画展開催期間中入館者数/市人口	%	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
(本事業に	より多くの人に佐野市から豊富に産出される化石や鉱物などを通	期間中入館者数前年度対比	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
よって成し 遂げたい	じ、自然科学について関心を持ってもらう。							
状態)								
/								

#### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

#### (1)活動実績

#### (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(1)/11	如大慎		7/20	チ未具の	<b>生1</b> シ	
		活動指標	単位	R3	R4	R5
7月15日(土)~11月23日(木・祝)〔112日間〕 ・企画展「第18回新着標本展」 令和6年1月13日(土)~3月31日(日)〔66日間〕 ・企画展関連講座 講演会 「失われた魅惑のペルム紀世界『前恐竜時代』を語る」 10月22 日(日) 講師:サイエンスライター土屋健氏、挿絵画家かわさきしゅんいち	・企画展「ペルム紀という時代」展	企画展開催期間中入館者数	人	9,916	13,721	12,092
	企画展の内容に満足した入館者/アンケート回答者	%	93.2	94.0	97.9	
	講演会参加者数	人	0	45	35	
	事業費計	千円	208	133	119	
	` '	一般財源	千円	208	133	119
	講師:サイエンスライター土屋健氏、挿絵画家がわさきしゅんいち    氏	特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

#### (3)活動による効果

#### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
(完量及7%	*********		企画展開催期間中入館者数/市人口	%	8.5	11.9	10.5	値が大きいほど良い	効果が下がった
	企画展開催期間中入館者数・講演会参加者ともに前年度より減少した。	期間中入館者数前年度対比	%	139.8	138.4	88.1	値が大きいほど良い	効果が下がった	
					•				

## (5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果	効果が上がった指標数	0指標
(551515	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	2指標
指標値増減)	指標全体	効果が下がった

※10万円以上の増減により判断

		効果				
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
費	費用は下がった					
	費用の増減無し			0		
用	費用が増加した					

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

例年同様、企画展を年2回開催したが、企画展開催期間中入館者数・講演会参加者数ともに前年度から減少した。しかし、企画展の内容に満足した方の割合は増えている。

## (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

事業の在り方検討	(廃止	休止	再編成	受	ナシン

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

ᄪᅲᅂ	╕┋╩╏┞
HV	银光炉

企画展等の内容をホームページ等で詳しく紹介する。

作成•更新日 令和6年8月2日

1年の派り返りノート(中和3年及天旭月)										
事業名 葛生化石館講座等開設事業			実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし	
1. 基本情	青報									
	部	教育部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
担当組織	課	文化財課		葛生化石館	予算	款	10	新規or継続	継続	事業
	係	葛生化石館		講座等開設事業	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	中事業
	体系コード	232	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	任意的	勺事業
政策体系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	博物館法	事業	開始年度	H14	実施方法	直	営
IXXX ITVI	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり	佐野市博物館条例	期間	終了年度	-	事業分類	施設維持	管理事業
	施策	2	歴史・文化資源の保存と継承	江江山西侧阳水山						-

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

#### (1) 事業概要

事業概要

生涯学習の場として、子供から大人まで利用していただけるような体験講座等を企画開催する。受講者は広報・HP等を通じて募集する。また、出張講座を希望する学校等に出かけて講座を実施する。

(2)目的

(3)目標値

	目的
ı	(本事業に
ı	よって成し
ı	遂げたい
ı	小大 作 ( )

市民の文化教養を高め、学習意欲の向上を目指す。より多くの人に佐野市から豊富に産出される化石や鉱物などを通じ、自然科学について関心を持ってもらう。

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
受講者数/市人口	%	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
受講者数前年度比	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

#### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(1) /11	32/19		///	ナベデッ	H 17	
		活動指標	単位	R3	R4	R5
・地質の日記念事業「化石とあそぼう」 5月14日(日)		受講者数	人	267	656	842
	自主講座開設数	回	3	6	6	
	出張講座数		3	8	9	
	` , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	事業費計	千円	57	102	40
	一般財源	千円	34	43	0	
		特定財源(国·県·他)	千円	23	59	40
		(うち受益者負担)	千円	23	59	40

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明
(定量及び
中州)

受講者数が前年度より増え、市民に対する割合も増えた。

<b>划</b> 果指標	単位	R3	K4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
受講者数/市人口	%	0.2	0.6	0.7	値が大きいほど良い	効果が上がった
受講者数前年度比	%	95.0	245.7	128.4	値が大きいほど良い	効果が下がった

#### (5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	1指標
指標値増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し		0	
用	費用が増加した			

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

受講者数・市民に対する割合ともに増え、自然科学に関心を持ってもらえた。出前講座はできるだけ行う。

## (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討	(廃止、休止、再編成	、受益者負担の見直しなど)
--	----------	------------	---------------

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

ᄪᅲᄼᄱ	ᄧᇚ
HVAD	ᄗᄱᄜ

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業費の見直し検討

仕事	の振り	返りシ	/一ト(令相 5 年度	美施分)			作	成・更新日	令和6	年8月2日
事業名	葛生伝承	<b>X館維持</b> 管	理事業	実施計画事業or一般事業	— <sub>i</sub>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	部	教育部		<b>マ</b> 質山東戦力		∆≣⊥		事業計画	単年度	給いら
	課	文化財課		予算中事業名	予算	会計款		争業計画 新規or継続	半年及	
	係	葛生伝承館		- 葛生伝承館維持管理事業	科目	項	4			ザネ 虫事業
	体系コード	232	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意		勺事業
エトクケ 仕 ブ	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	1##m&\\+	事業	開始年度	H16	実施方法	直	営
政策体系	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり	- 博物館法 - 佐野市博物館条例	期間	終了年度	-	事業分類	施設維持	管理事業
	施策	2	歴史・文化資源の保存と継承	- 江到中海岛大河		•		•		
<b>2. 事業</b> 概 (1)事第		とび(基本計	画期間内)目標値							
事業概要	葛生伝承館	官の施設や設	備を整備して、利用者に良好な環境を提信	<b>共する。</b>						
(2)目的	<u></u>			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的 (本事業に	+ <del></del>	· · · · ·	+***TIII-+-> - 1 & - +> + *** - +0 .	施設が安全で良好に使われた割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
よって成し	施設を女主 利用できる。		寺管理する。入館者が不都合な〈安全に							
遂げたい	مروع) سربه									
状態)										
	3. 前年度の実績 (活動及び費用対効果) 説明         (1) 活動実績       (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移									
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				くん蒸回数	回	1	1	1		
	:±+3*¥₹₹	<del>不</del> 計	⋬ <del>╠₩</del> ⋜⋪ <del>⋌</del> ⋶1	保守点検回数		4	4	4		
活動実績		安託、機械書 施(年1回)	<b>於備業務委託</b>	修繕件数	件	1	1	0		
(R5年度に 行った主な活			保守点検の実施(年2回)	事業費計	千円	4,162	4,318	3,888		
動内容)		共済保険の加		5 51 52 52 5			,	-		
				一般財源	千円	4,162	4,318	3,888		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活動	かによる効果			(4)事業効果を説明する数			D.4	l pr	↓選択して	
				効果指標 施設が安全で良好に使われた割合	単位 %	R3 100.0	R4 100.0	R5 100.0	指標の性質 値が大きいほど良い	R4とR5の比較 効果は変わらない
効果説明				心政が女主(及灯に使われた計画	90	100.0	100.0	100.0	旭かへさいはと良い	刈未は多りつない
(,,	施設点検を	こまめに行い、	、修繕もなく良好に管理している。							
定性)										
(5)費用	用対効果結果	果(自動判定	₹)							
	とR4の一般		費用は下がった	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が		0指標			T	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果は変わり効果が下が		1指標 		費	費用は下がった		0		
指標値増減)	79321073 1 73	指標全体	効果は変わらない		用	費用が増加した				
(1) 令和		■業実施におり ■	ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用え	対効果	句上のための	)課題			
(2) 上訂	こ反省点及で	/課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組							
				取組説明						
	事業の在り	方検討(廃止	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)							

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業費の見直し検討

1上尹	りが成り	ルベリン	~卜(令和5年度	.夫加刀)			1 F.	或•更新日	ОП∿ст	年8月2日
事業名	葛生伝剤	館運営事	 業	実施計画事業or一般事業	— <u></u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情				1		1		I		
	部	教育部		予算中事業名	~ <del>~</del>	会計		事業計画	単年度	
担当組織	課 係	文化財課 葛生伝承館		葛生伝承館運営事業	予算 科目	<u>款</u> 項		新規or継続 市単独or国県補助	継続	事業 中事業
	体系コード	232		根拠法令、条例等	7711	目		義務or任意	任意的	
	基本目標		 新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度		実施方法	直	
政策体系	政策		歴史・文化を守り育てるまちづくり	博物館法		終了年度	-		施設維持	
	施策		歴史・文化資源の保存と継承	- 佐野市博物館条例		11/2		テルバス	ייייייייייייייייייייייייייייייייייייייי	<u> </u>
(1)事業	美概要 葛生伝承館	宮を運営するた	画期間内)目標値 めの事業。資料の収集整理・管理・学芸 務用経費、展示品の修繕などを行っている		哉員を任	£用する。ま	た、収集資	料の修繕や	受付業務の	の委託、
(2)目的	ti			(3)目標値						
(4) 💷	ر			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				入館者数/市人口	%	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
(本事業に	展示資料を	:見学することに	こより地域の伝統・文化を知ってもらう。入							
よって成し 遂げたい	館者に利用	しやすい環境	を整える。							
状態)										
<b>3. 前年度</b> (1)活動		<b>舌動及び費用</b>	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ				D.F.		
				活動指標 	単位	R3	R4	R5		
				入館者数	人	5,404	5,929	6,023		
	ᄾᅴᄹᄨ		7 = 76 +6=0.65 TB 77 /-1-144 76+40L	収集資料数	点	791	851	893		
活動実績	・会計年度 ・受付業務		る事務・施設管理・受付業務補助							
(R 5 年度に 行った主な活			「ジタルフルカラー複合機の借上げ	市 ## = 1	-t-m	C 412	6 400	7 205		
動内容)		用消耗品の肺		事業費計	千円	6,412	6,488	7,295		
				一般財源	千円	6,405	6,479	7,278		
				特定財源(国·県·他)	千円	7	9	17		
				(うち受益者負担)	千円					
(0) ) ] =	l (= 1 = ±1 ==					L = 144.707			1 23 101 -	
(3)	かによる効果			(4)事業効果を説明する数 効果指標	単位	9の推移 R3	R4	R5	→ 選択して 指標の性質	トさい R4とR5の比較
				入館者数/市人口	%	4.6	5.1	_	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明	7 A-1-7 W-1	» <u> </u>		八品百数/ 17八口	70	7.0	5.1	5.5		793703 1273 370
(定量及び 定性)	人館者致力	制年度より増	え市民に対する割合も増えた。							
ÆIL)										
(5)費用	月対効果結果	果(自動判定	<b>E</b> )							
費用(R5	とR4の一般	財源増減)	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が	った指標数 るない指標数	1指標			井田(4丁+* ←	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果が下が		0指標 0指標	-	費	費用は下がった				
指標値増減)		指標全体	効果が上がった	]	用	費用が増加した	0			
	<b>ぎに向けた検</b> 15年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意り	見等を踏まえた検討課題、費用!	対効果に	句上のための	D課題			
入館者数・	市民に対する	る割合ともに増	言え、地域の伝統・文化を知ってもらえた。							

取組説明

## 仕事の振り返りシート(令和5年度実施分)

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業費の見直し検討

<b>事業名</b>	葛生伝承	館企画展	等開設事業 第	実施計画事業or一般事業	_ <u></u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当な
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし				該当な
. 基本	青報					•		•		
	部	教育部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
当組織	課	文化財課		葛生伝承館	予算	款	10	新規or継続	継続	事業
	係	葛生伝承館		企画展等開設事業	科目	項	4	市単独or国県補助		虫事業
	体系コード	232	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	任意的	的事業
2)策体系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	博物館法		開始年度	H16	実施方法	直	営
CAK LEVIK	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり	佐野市博物館条例	期間	終了年度	-	事業分類	施設維持	管理事
	施策	2	歴史・文化資源の保存と継承	江江中保护四位大门		•		-	•	
<b>. 事業</b> 1)事		なび(基本計	<b>画期間内)目標値</b>							
業概要			げ吉澤人形頭」、県指定無形民俗文化財 示・紹介する。	「牧歌舞伎」関連資料を中心に	、佐野	市に伝わる	伸楽•歌舞(	伎·節句人	形などの伝え	統芸能學
2)目的	竹			(3)目標値						
_, H	-			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				企画展開催期間中入館者数/市人口	%	5.0	5.0	5.0	5.0	5.
本事業に	多くの優れた	佐野市の文	化や芸能に関する資料を集め、より多くの	期間中入館者数前年度対比	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100
って成し 遂げたい	人に鑑賞し	てもらえるよう	にする。							
状態)										
Í										
. <b>前年</b> / 1)活動		5動及び費用	<b>月対効果)説明</b> 	(2)活動を説明する数値デ活動指標	- タ及び 単位	ド事業費の R3	推移 R4	R5		
		企画展開催期間中入館者数	人	5,404	5,929	6,023				
			企画展開催期間日数		213	254	240			
動実績	・「雛人形展」 4月1日(土)~4月6日(木)〔5日間〕 E績 ・「節句の祝展」 4月22日(土)~6月18日(日)〔50日間〕	1上四/女子(円)住外7月1日1 11女X 企画展の内容に満足した入館者/アンケート回答者	<u>и</u> %		83.8					
5年度に た主な活	・「牧歌舞伎	矮」7月11	日(火)~9月24日(日)〔66日間〕			72.1		89.5		
内容)	・  佐野土新		7日(土)~1月21日(日)〔72日間〕 (火)~3月31日(日)〔47日間〕	事業費計	千円	208	157	171		
	■・「毎日人丌シ∆	t] 2月0日(	火)~3月31日(日)(47日间)	一般財源	千円	208	157	171		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
2 \ 27 =	ᄔᄼᅡ			(4) 市界並用+=>===================================		h n +# 19	<u> </u>		1 22401 -	
3) 活動	動による効果 T			(4) 事業効果を説明する数			D4	DE	↓選択して	
				効果指標 企画展開催期間中入館者数/市人口	単位	R3	R4	R5	指標の性質 値が大きいほど良い	対果が上が
果説明	企画展開催	2口数/+前年	度より減少したが、期間中入館者数は増	期間中入館者数前年度対比	% %	4.6 157.9	5.1 109.7	5.3 101.6	値が大きいほど良い	効果が下が
産量及び	加した。	ᄄᅜᅑᄱᆄᆘᆉ	反より減少したが、粉固十八品省数は増	州间中八路白奴削牛皮刈山	70	137.9	109.7	101.0	IIII//Aeviaegu	X))*/,) 1-/
定性)	лиотсь									
		_								
		<b>艮(自動判定</b>						***		1
用(RS	とR4の一般! 「効果が上が		費用の増減無し 1指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果 効果は変わらない	井田が工が-+	
効果	効果は変わり	うない指標数	0指標	-	費	費用は下がった	効果が上かつに	効果は変わらない	効果が下がった	
R5とR4の 票値増減)	効果が下が	った指標数	1指標		用用	費用の増減無し		0		
水區相似)		指標全体	効果は変わらない	J	πJ	費用が増加した				]
	<b>度に向けた検</b> 和 5 年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用を	対効果に	句上のための	D課題			
1) 令	崔期間中入館	官者数が増え	、より多くの人に鑑賞してもらえた。							
1) 令	崔期間中入館	官者数が増え	、より多くの人に鑑賞してもらえた。							
1)令和			、より多くの人に鑑賞してもらえた。	取組説明						

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業費の見直し検討

業名	葛生伝承館講座等開	設事業	実施計画事業or一般事業	— <u>;</u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし		該当なし		該当
基本性	青報							ı	
	部 教育部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返
当組織	課文化財課		葛生伝承館	予算	款	10	新規or継続	継続	事業
	係 葛生伝承館		講座等開設事業	科目	項	4	市単独or国県補助	市単独	
	体系コード 232	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	任意的	<b>勺事</b> 美
放策体系	基本目標 2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり		  博物館法	事業	開始年度	H16	実施方法	直	営
XXX	政策 3 歴	史・文化を守り育てるまちづくり	佐野市博物館条例	期間	終了年度	-	事業分類	施設維持	管理
	施策 2 歴	史・文化資源の保存と継承			•		•	•	
<b>. 事業</b> 1)事	<b>概要と目的及び(基本計画</b> 類 業概要 T	期間内)目標値							
掌概要	生涯学習の場として、子供かる学校等に出かけて講座を見	ら大人まで利用していただけるような体 尾施する。	験講座等を企画開催する。受調	構者は広	報·HP等を	通じて募集	€する。 また	、出張講座	を希望
2)目的	约		(3)目標値						
			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R
目的			講座を面白いと感じた参加者/アンケート回答者	%	80.0	80.0	80.0	80.0	8
(本事業に よって成し	郷土に関わりのある伝統・文	化・芸能に対し、興味を持ってもらう。							
遂げたい		,5,50,50,7(,,,-,5,5)							
状態)									
					<u> </u>				
. 前年原 (1)活動	度の実績(活動及び費用対 ・	効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	" <i>h</i> TL7	(声光葉の	#19			
I / / □ 3	切天視		活動指標	単位	R3	性1タ R4	R5		
	カ実績・こどもの日 民話語り 5月5日(金・祝)								
		受講者数	人	25	85	147			
		- C (	講座開設数	回	1	3	4		
動実績									
	・びゅんびゅんゴマを作ろう 8.・羽子板を彩ってみよう 12月						_		
動内容)	・出張講座を実施	月0日(水)・13日(水)	事業費計	千円	1	0	8		
	山水神注で大ル		一般財源	千円	1	0	8		
				千円					
			刊定剂///、(国*未*他)						
			(うち受益者負担)	千円					
(3)活動	動による効果		(4)事業効果を説明する数	が値デー	タの推移			↓選択して	下さ
(3) /113			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
			講座を面白いと感じた参加者/アンケート回答者	%	83.3	90.7	93.1	値が大きいほど良い	効果が上
为果説明	受講者数は前年度より増加	し、面白いと感じた参加者の割合も増							
(定量及び 定性)	えた。								
ÆIL)									
(5)費月	用対効果結果(自動判定)								
費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上がった指標数 効果は変わらない指標数	1指標 0指標		:222	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標		費	費用の増減無し	0			
<b>旨標値増減)</b>	指標全体	効果が上がった		用	費用が増加した				
(1) 令和		反省点、環境変化や関係者からの意見 参加者の割合ともに増え、郷土に関わり							
(2) L=	コ后坐占ひが囲磨を吹+=+	<b>○和6年度取び○和3年度の際の</b>							
、4) 上言	心又自从火ひ誄起を始まえた	、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明	1					
П	事業の在N方給計 (& L 4	止、再編成、受益者負担の見直しなど)	4X小口のルツ	!					
	事業効果を上げるための事務		1						

仕事	の振り返りシート(令和 5 年度	実施分)			作	或∙更新日	令和6	年8月2日
事業名	栃木県博物館協会参画事業	実施計画事業or一般事業	— <u></u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本				1	1		T	
+□ \ / &□ &#\</td><td>部 教育部</td><td>予算中事業名</td><td></td><td>会計</td><td></td><td>事業計画</td><td>単年度</td><td></td></tr><tr><td>担当組織</td><td>マングラ 文化財課 クロス クロス クロス クロス クロス クロス クロス クロス クロス クロス</td><td>栃木県博物館協会参画事業</td><td>予算</td><td>款</td><td></td><td>新規or継続 市単独or国県補助</td><td>継続</td><td></td></tr><tr><td></td><td>係     葛生化石館       体系コード     232       名称</td><td>根拠法令、条例等</td><td>科目</td><td><u>項</u> 目</td><td>4</td><td>義務or任意</td><td>市単独任意的</td><td></td></tr><tr><td></td><td>基本目標 2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり</td><td></td><td>事業</td><td>開始年度</td><td></td><td>実施方法</td><td>直</td><td></td></tr><tr><td>政策体系</td><td>政策 3 歴史・文化を守り育てるまちづくり</td><td>博物館法</td><td></td><td>終了年度</td><td></td><td>事業分類</td><td>参画</td><td></td></tr><tr><td></td><td>施策 2 歴史・文化資源の保存と継承</td><td>- 佐野市博物館条例</td><td>7431=3</td><td>心了千皮</td><td></td><td>于未力及</td><td></td><td>于木</td></tr><tr><th colspan=9>2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要  「「「「「「「「「」」」」  「「「」」「「」」「「」」「」」  「「「」」「」」</th></tr><tr><td>(2)目的</td><td><u>                                     </u></td><td>(3)目標値</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>効果指標</td><td>単位</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>目的 (本事業に</td><td>   館の運営について、他館の状況や活動・動向に関する情報の収</td><td>参画で情報を集められた館職員の割合</td><td>%</td><td>100.0</td><td></td><td>100.0</td><td></td><td>100.0</td></tr><tr><td>よって成し</td><td>集・交換の機会・手段を得る。また、教育普及活動及び展示等に</td><td>参画の意義を認める館職員の割合</td><td>%</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>遂げたい</td><td>関する技術の向上を図る。</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>状態)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td><b>3. 前年</b>B (1)活動</td><td><b>きの実績(活動及び費用対効果)説明</b> 効実績</td><td>(2)活動を説明する数値デ</td><td>ータ及び</td><td>が事業費の</td><td>惟移</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>活動指標</td><td>単位</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>機関誌収集数</td><td>部</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td><ul><li>市の活動</li></ul></td><td>会議·研究会参加数</td><td>回</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td></td><td></td></tr><tr><td>活動実績</td><td>栃木県博物館協会に負担金(5千円)を支出。</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(R5年度に 行った主な活</td><td>・栃木県博物館協会の活動総会・研究会・講演会・視察研修会を開催し、機関誌を発行し</td><td>事業費計</td><td>千円</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>動内容)</td><td>ている。</td><td>一般財源</td><td>千円</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>特定財源(国·県·他)</td><td>千円</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>(うち受益者負担)</td><td>千円</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(3)活動</td><td>めによる効果</td><td>(4)事業効果を説明する数</td><td>ぬ値デー</td><td>タの推移</td><td></td><td></td><td>- ↓選択して</td><td>下さい</td></tr><tr><td></td><td></td><td>効果指標</td><td>単位</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>指標の性質</td><td>R4とR5の比較</td></tr><tr><td>効果説明</td><td></td><td>参画で情報を集められた館職員の割合</td><td>%</td><td>100.0</td><td></td><td>100.0</td><td>値が大きいほど良い</td><td>効果は変わらない</td></tr><tr><td>(定量及び</td><td>   会議等に参加し情報が得られた。</td><td>参画の意義を認める館職員の割合</td><td>%</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>値が大きいほど良い</td><td>効果は変わらない</td></tr><tr><td>定性)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>/r\ #r</td><td></td><td></td><td>l</td><td>1</td><td>I</td><td>I</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td></td><td>用対効果結果(自動判定) とR4の一般財源増減) 費用の増減無し 費用の増減無し</td><td>※10万円以上の増減により判断</td><td></td><td></td><td></td><td>効果</td><td></td><td></td></tr><tr><td>効果</td><td>  効果が上がった指標数   0指標</td><td>ハ・エ ロフコールヘエッジロル切にみソナリ四</td><td></td><td></td><td>効果が上がった</td><td>効果は変わらない</td><td>効果が下がった</td><td></td></tr><tr><td>(公)米</td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>								

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	2指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果は変わらない

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し		0	
用	費用が増加した			

## 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

他館の状況や活動・動向に関する情報が得られており、栃木県博物館協会に参画することは必要である。今後も会議等に参加し情報を得る。

(2)	上記反省占及が課題を踏まえた	今和6年度及び今和7	7 年度の取組

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担
-----------------------------

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

HUXH	=M D H
ロXがH	ᇌᄱ